

# 実施計画事業評価シートの見方

○総合計画の位置付け  
「平塚市総合計画 生活快適・夢プラン」における位置付けを示しています。

平成20年度 実施計画事業評価シート 1頁

1. 事業の位置付け

事務事業名	青少年指導員活動事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
予算科目	01-030105-030000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	① 基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち ① ①(人間力) 一人一人の心のやさしき、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ ① ① いのちを大切にすることをもち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる		
指導対象者	青少年	事業期間	
協働	【委託: <input type="checkbox"/> セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他】 【協働: 市民・自治会等】		
目的・目標	事業の概要		
地域から選出された青少年指導員が、行政とともに青少年への指導・助言や、地域行事のサポート、環境浄化活動などを行い、明日を担う青少年の健全育成と、それを実現できる環境を育てています。	青少年健全育成を地域ぐるみで推進するため、地域人材を青少年指導員に委嘱し、地域行事への協力や青少年への指導などを行うとともに、研修会などの実施により指導員活動を支援します。		

2. 事業の検証

指標名	理事会・総会開催回数					
説明・算定式						
活動指標①	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
目標			7	6	7	
実績			7			
単位						
17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
青少年指導員の活動率						
説明	実際にイベント等で活動した期間(月を上中下旬に3区分した期間)の数÷12ヶ月×3期間×28地区×10					
17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実績			73	74	75	
71.6						
単位						
成果指標②	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
目標						
実績						
進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 予定どおり <input type="radio"/> 遅れている理由					
平成19年度の主な取組と成果	理事会2回開催。総会2回開催。研修会を2回開催。その他各地区で青少年健全育成のための行事等を開催し、青少年健全育成を地域ぐるみで推進することができた。					
平成19年度の検証結果	A-成果があがった					

事業の概要を示しています。

○説明・算定式指標の説明を要するものについて記載しています。  
5段階評価の場合、「5」が最も高い評価となります。  
3段階評価の場合、「3」が最も高い評価となります。

平成19年度の目標値に対する実績値です。

進捗状況が②及び③の場合のみ、理由を掲げます。

○検証結果  
成果指標の目標値に対する実績値の割合により評価します。  
A 成果があがった………90%以上  
B おおむね成果があがった………70%以上90%未満  
C 十分に成果をあげることができなかった……70%未満

2頁

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関 <input type="checkbox"/> その他	県を中心とし各市に同様の制度があり、また市が関与す	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 市民満 <input checked="" type="checkbox"/> 継続に <input type="checkbox"/> その他		● 高 ○ 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	各地区での事業の遂行や、役員にかかる負担を考慮すると、現状でも適当と思われる。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民話の余地、事業) <input type="checkbox"/> その他	基本的に地域に居住する大人のボランティアで運営され	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		今後に向けた課題の分析 青少年指導員の地区活動そのものが継続的に見直しを図る必要がある。	○今後に向けた課題の分析 課題を明確にしています。	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性

●現状の規模で継続 ○拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ○他事業と統合

<判断理由>  
原則として現状のままで継続するが、市内各地区での人口の増減等を考慮し、各地区の指導員数の見直し、又は青少年指導員自らの定数増を考慮する必要がある。

平成21年度の取組方針

平成20年度の任期替えでは指導員が大幅に入れ替わった地区があり、指導員が地区行事の各代表で構成される理事会で意見交換を活性化させるなどとして、地区の運営が円滑に進むよう努める。

課長コメント

地域の子どもは地域で育てるといふことのために、青少年指導員の活動が重要な役割を果たしている。現状規模で継続していく。今後は、地域の他団体との連携をさらに深め、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく環境の醸成を図っていく。

○事業分析  
事業を「必要性」「有効性」「妥当性」「効率性」の4つの観点から分析しています。

○今後に向けた課題の分析  
課題を明確にしています。

○執行率  
計画額(実施計画書に掲載)に対する決算額の割合を示しています。

○人件費  
平均給与により算出しています。

○今後の事業展開  
担当課としての提案であり、予算編成を行う中で参考にするものです。

○進捗状況  
活動指標の目標値に対する実績値の割合により評価します。  
① 予定どおり………90%以上  
② 若干遅れている………70%以上90%未満  
③ 遅れている………70%未満